

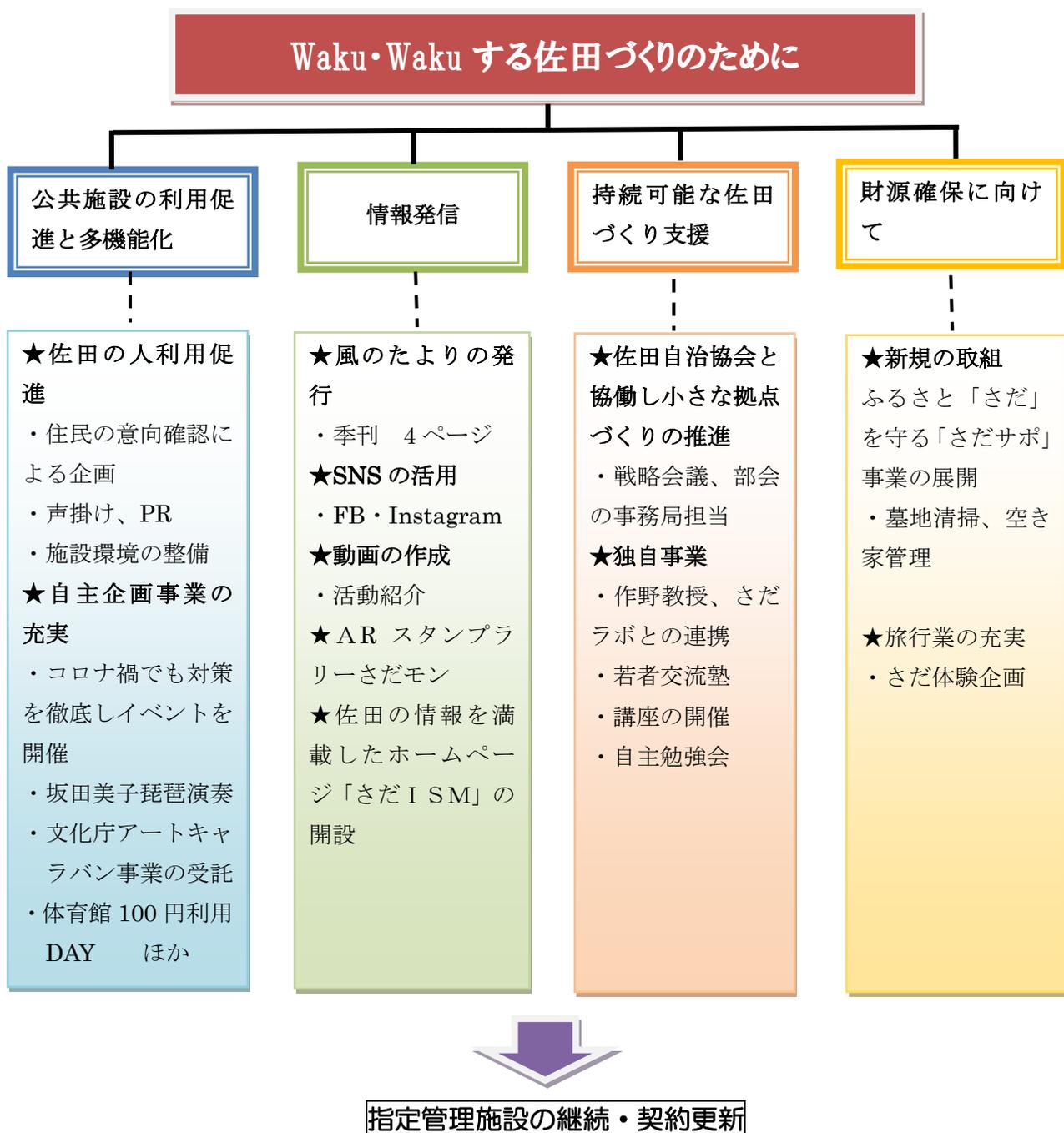
令和3年度活動計画

① はじめに

『革新・深化～町を元気にするために～』

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を図りながら、人口減少が加速する佐田地域の活性化のために地域振興に一層の力を注ぎ、佐田地域民から信頼をより高め、活動の深化を図って行きたいと考えます。

★基本方針★



★自主企画事業

施設名	考え方	実施予定
スサノオホール	<p>◎コロナ禍でも感染症対策を充実し、ホールの利用促進を図る。</p> <p>◎普段でも来訪者の増員を目指す。</p> <p>◎施設・設備管理に留意する</p>	<p>★cotaba 毎月1回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニステージ (稲田姫など) ・コタバスの運行 ・さだブース <p>★落語会</p> <p>★坂田美子琵琶弾き語り</p> <p>★アウトドアシアター</p> <p>★ごっこいまつり</p> <p>★文化庁アートキャラバン事業</p> <p>★文化協会活動への支援</p> <p>★その他</p>
スポーツセンター	<p>◎体育館利用者1万人を目指す 特に佐田町在住者</p> <p>◎施設・設備管理に留意する</p>	<p>★月1回、土曜日昼間を100円/人で利用可とする。100円で遊DAYの開催。</p> <p>★スローエアロビック(随時)</p> <p>★ゆるスポ教室(随時)</p> <p>★夏休みこども集いの場</p> <p>★その他</p>

② 各部門の事業方針

【本部関係】

- 理事・社員が協働し、法人の使命を深化させていきます。具体的には、文化事業担当理事会、財源確保担当理事会を今年度も開催していきます。
- 法人の継続性を図るため、事務局長を任命、社員研修の充実など組織力をより向上させていきます。
- 助成制度の活用や寄附金など財源確保に努力するとともに、効果的な支出に務めます。
- 「風のたより」毎月発行を3か月に1回の発行、佐田の情報を掲載するホームページの開設など、情報発信をより充実させます。
- 佐田町文化協会、出雲市体育協会佐田支部等の事務局を引き続き担当させていただきます。
- 出雲市レンタサイクル事業の委託事務を担当しますが、今後の方向性について市と協議していきます。
- 「朝日たたら」の管理を継続して行います。

【スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館】

- ・スサノオホール、佐田スポーツセンター体育館は、法定耐用年数 40 年を経過し、施設の大規模修繕が必要となります。存続に向け、利用者の増加、多機能化を図り、佐田地域でより必要度の高い施設へと傾注していきます。
- ・令和 4 年度以降も指定管理が受託されるよう日々の管理運営に留意するとともに、社員体制の整備を図っていきます。
- ・ホールでは、空調施設の老朽化による公演時への支障など数多くの修繕箇所があります。また、洋式トイレへの改善など利用者の立場にたって施設改善を今年度も強く要望していきます。
- ・ホール等自主事業の企画運営には佐田地域内外の若者も参画していただきます。
- ・休館日は社員を配置しない完全休館日とします。(ホール 月曜日 スポセン・文化練習館 毎月第 4 水曜日)

【障がい者福祉事業】

- ・障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の減少が顕著になっています。数年以内に存続の問題に直面する恐れもあり、利用者の確保に努めます。
- ・現在の施設は、老朽化、狭隘等利用者に不便をかけている面もあります。また、若手社員・利用者の確保の面にも支障があると考えられます。既存施設の改善など中期的視点にたち検討していきます。
- ・昨年の平均工賃が 1 万円を切っています。これは報酬の減額に直結するものであり、工賃の向上に向け取り組んでいきます。また、施設外就労に係る報酬が廃止されたため、経営に支障を来す一因となりました。
- ・相談支援事業については、今後も積極的に実施していきます。

【小さな拠点づくり支援業務】

- ・佐田地域の課題解決に向け、佐田自治協会の「佐田地域戦略会議・小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を担当し、「さだ未来ビジョン」の策定に協力します。
- ・「島根大学 佐田サテライトラボラトリー」(通称 さだらボ)と協働し、コミュニティ活動の充実を図ります。
- ・「ARスタンプラリーさだモン」の開発を通して佐田の魅力アップを図ります。
- ・各振興協議会での研修会、地域づくり活動を支援します。
- ・若者・女性の実践活動の支援、集いの場の創出を図ります。
- ・社員研修の充実と関係機関との連携を図ります。

【経済活動の活性化を図る事業】

- ・さだのちいさなマーケット「cotaba」の拡充を行います。
- ・新型コロナウイルス感染により不透明な第 3 種旅行業ですが、佐田地域内外に販促をかけていきます。また、独自企画も打ち出していきます。

【その他事業の展開】

- ・ホームページ、フェイスブックを積極的に活用していきます。
- ・会計、労務管理、PC管理については専門職へ相談・指導を受けながら対応していきます。
- ・理事・社員の福利厚生事業(1日研修)の充実を図ります。